

# 特別支援教育なう Vol.11

今回は、現在県下の学校で進行中の3つの事業について紹介します。これらは文科省が発達障がいを含む障がいのある子ども一人一人の教育的ニーズに応じた支援を行うため、幼稚園から高等学校における支援体制の整備を推進する事業の一環であり、熊本県の取組は全国のモデルとして注目を集めています。



## 特別支援学校機能強化モデル事業(特別支援学校のセンター的機能充実事業)

特別支援学校において外部専門家を活用した研修を実施し、特別支援学校の専門性の向上を図るとともに、地域の小・中・高等学校等を支援する特別支援学校のセンター的機能を充実させることを目的としています。その例として以下のような取組があります。

- ①言語聴覚士(ST)、作業療法士(OT)、理学療法士(PT)、心理学の専門家等を活用して、特別支援学校の専門性を強化する
- ②特別支援学校間のネットワークを構築し、それぞれの特別支援学校の専門性を生かしながら地域の学校等へ多面的な助言等を行う

地域の特別支援学校はインクルーシブ教育システムの中で重要な役割を果たすことが求められており、このモデル事業を通してより充実した地域の特別支援教育のネットワークの構築が期待されています。

## インクルーシブ教育システム構築モデル事業 成果発表会 開催!

平成25年度から3年間研究指定を受けている山鹿市教育委員会と鹿本農業高等学校が、11月20日(金)に合同で成果発表会を開催します。

成果発表会では、合理的配慮を取り入れた授業実践の公開や、事業の取組に関する参加者との意見交換、講演等が予定されています。参加をさせていただき皆さんと今後のインクルーシブ教育システムの在り方を考える貴重な機会と考えております。多数の御参加をお待ちしております。

### 成果発表会の開催について

- 1日時 平成27年11月20日(金)  
2会場 山鹿市内小中学校、鹿本農業高校  
山鹿市  
3内容  
(1) 小中高における授業公開及び授業研究会  
(2) 講演  
(3) パネルディスカッション

## 熊本支援学校の教育課程編成の取組~めざす子ども像の実現に向けて~

熊本支援学校は、昨年度から教育課程の改善を進め、今年度から文部科学省の委託事業「特別支援教育に関する教育課程の編成等についての実践研究」を受け、実践研究に取り組んでいます。

今年度の取組は次のとおりです。今後の研究の進捗にご注目ください。

- ①学校教育目標が示すめざす子ども像を、児童生徒の「育てたい資質・能力」として整理
- ②全教職員による、「育てたい資質・能力」に焦点を当てた事例研究
- ③「育てたい資質・能力」を育むための教育課程の改善